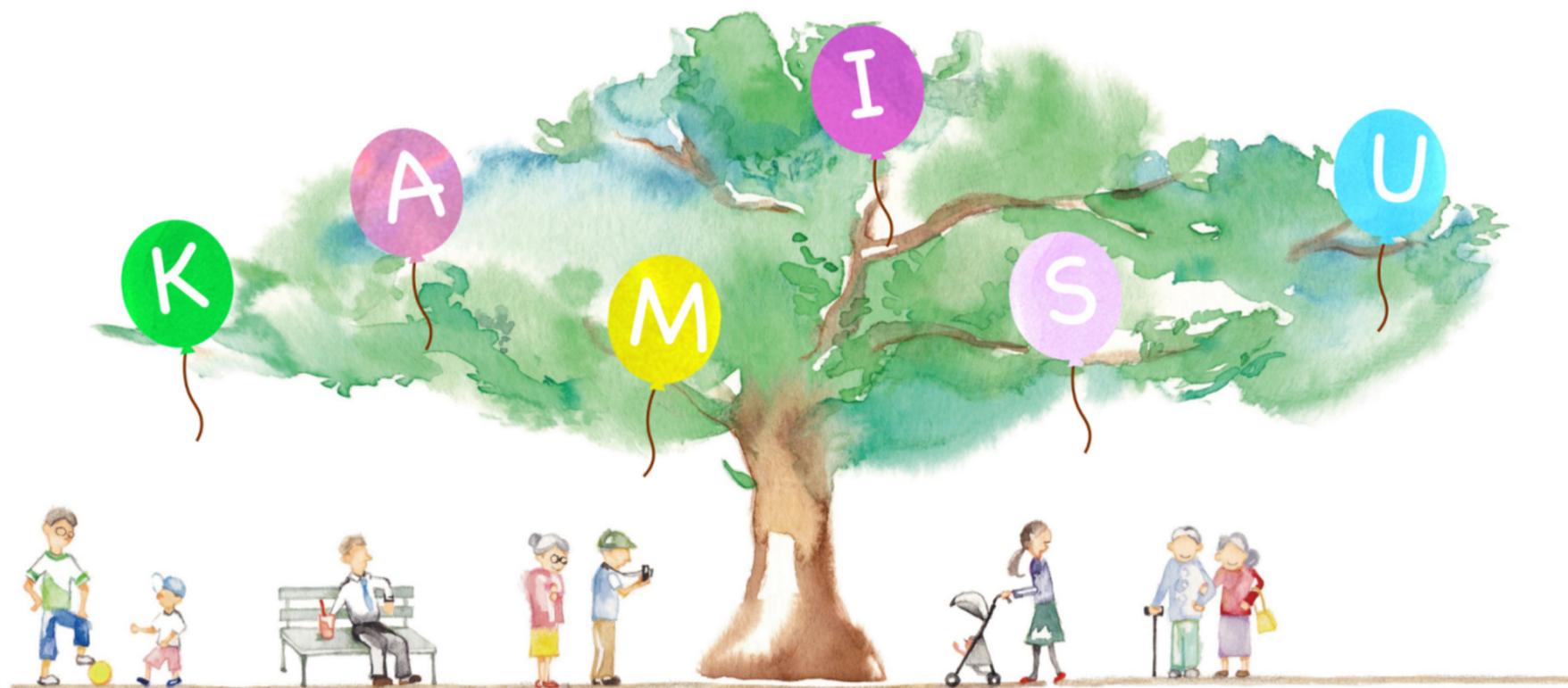


終活フェス2020

済生会フェア

神栖ココでずつと暮らすために

～人生の最終段階における医療・ケアについて考える～



2021年 参加費 無料
2月28日(日) 13:00~17:30

※こちらが開催延期後の日程です。
当イベントは新型コロナウイルスの感染拡大を受け、

完全オンライン開催に変更となりました。ご注意ください。



YouTubeでライブ配信します。
ライブ配信はこちら



吉本栄祖氏も参加！

大会挨拶

「終活（しゅうかつ）」という言葉聞いて、皆様は何を思い浮かべますか？お墓のこと、お金のこと、お葬式のこと・・・などが浮かんで来たかもしれません。縁起でもない！と思われる方もいるかもしれません。でもほとんどの人が、自分らしい、自分の希望する最期を迎えたいと思っていますよね。

人生の最終段階では様々なことを決めなければいけません。「もしも食べられなくなったら・・・」「最期まで頑張って治療を続けるのか」「最期の療養先はどこにするか」、実に多くのことを決める必要があります。しかし、実は命の危険が迫った状態になると約70%の方が、これらの医療・ケアについて自分で決めたり、人に伝えたりできなくなると言われているのです。もし、あなたがそんな状態になったら、家族等のあなたの大切な人が、その医療・ケアの決定に迫られます。家族等が「あなた」を大切にしたい思いと、あなたの希望する医療・ケアは必ずしも一致しないことがあり、非常に悩ましい決断をしなければいけないこともあります。私たち医療従事者が日常茶飯事で経験し、つらい思いをしていることです。どうすれば、自分が望む医療・ケアを最期まで受けることができるのか、そのために必要な準備、心構えは何か。自分の大切にしたいこと、たくさんみんなで繰り返し話し合しましょう。それが「人生会議」です。今回の終活フェス2020に参加し、様々なコンテンツから学び、共感し、大切な人と思いを共有する・・・ぜひ、その第一歩を踏み出してみませんか？



人生の最期に

あなたは何を大切にしたいですか。

好きな人と笑っていられること？

住み慣れたおうちで過ごすこと？

痛みや苦しみが無いこと？

いい人生だったと思えること？

決めなくていいから、

みんなで、たくさん、何度も話をしよう。

さあ、「人生会議」をしよう。

神栖市 終活フェス2020～人生の最終段階の医療・ケアについて考える～
代表 細井 崇弘（筑波大学医学医療系・神栖地域医療教育センター助教
／神栖済生会病院 総合診療科長）

2020年10月1日

- 閉じる

コンテンツ

①大会開催にあたって

～「人生の最期」をテーマに演劇を交えた趣旨説明～

誰もが迎える「もしも」の時。

“「もしも」の大切さ”や“医療現場での課題”を紹介します。

清真学園中・高校生による演劇に、医師の解説を交え、事前に家族内で話し合われる機会の少ない「もしも」について皆で考えてみませんか。



②長照寺住職 吉本栄昶(南夢明) 氏 講演

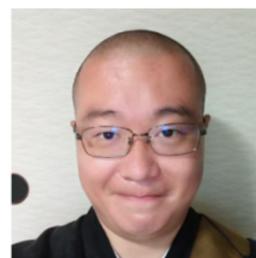
「人生の最終段階における心構え」

笑いながら生きるにはどうすればいいか。

辛いこと嫌なことは口に出せばいい。ただ、そのまま出せば愚痴となり、

笑いに変えればネタとなる。

人生をネタに変えればどれほど楽しいか、落語を交えて楽しく解説いたします。



③神栖法律事務所 安重洋介 氏 講演

「人生の最終段階における法律の話」

日本は高齢社会を迎えており、相続や遺言の相談も増えています。

「父が認知症気味ですが、遺言は書いてもらえますか？」

「子どもたちに相続でもめて欲しくないのですが、どのような準備がありますか？」

誰しも自分の最後は不安でいっぱいですが、最後をきちんとした形で終えるために法律の話をお聴きしてみませんか？



④もしばなゲーム

誰もが大切だとわかっている「もしも」のこと。

医師開発の「もしばな」カードを使えば、避けてしまいがちな話題を扱うことができます。

住職兼落語家の吉本栄昶(南夢明)氏、安重洋介氏に加え、医師、社会福祉士の4名も交え意見交換をします。



⑤さあ、人生会議をしよう

～もしもの時に関する大切な話し合い～

「もしも」の時の話は「いつ、誰と、どんなことを話せばいいの…」清真学園演劇部による劇を交え、細井崇弘（筑波大学附属病院神栖地域医療教育センター・神栖済生会病院 内科医長）氏が分かりやすく説明します。





YouTubeでライブ配信します。
ライブ配信はこちら

講演者



吉本 栄昶(南夢明) 氏

神栖市長照寺住職
神栖警察署協議会会長
神栖市観光物産PR協議会会長
妙塔学林教授
京都教学研究所研究員

1979年生まれ、広島県出身。
三遊亭圓窓の神栖亭連長として、落語の普及に日々奮闘。CBCラジオ「つボイノリオの聞けば聞くほど」を機として中部東海地域では「おめこ住職」と呼ばれる。また、日本で4人しかいない特命布教師の一人として全国を駆け回る神出鬼没の僧侶。
「笑い」をテーマに、ボランティアにて各地での講演活動を行う。



安重 洋介 氏

神栖法律事務所 代表弁護士
神栖市教育委員
茨城県スクールロイヤー
神栖市高齢者障がい者虐待防止ネットワーク委員
福祉後見サポートセンターかみす運営委員

神栖市生まれ。清真学園高校卒。
2010年弁護士登録、2015年神栖法律事務所開業。
労務管理、行政、不動産、事故賠償等の民事業務・講演活動を幅広く取り扱うほか、神栖市教育委員として教育活動についても深く取り組んでいる。

著書
「実務への影響まるわかり！徹底解説民法改正〈債権関係〉」(共著)
「相続実務が変わる！相続法改正ガイドブック」(共著)
「国家賠償法実務ハンドブック」(共著)

イベント開催情報

終活フェス2020

日時	2021年2月28日（日） 13:00～17:30
料金	無料

当イベントは新型コロナウイルスの感染拡大を受け、完全オンライン開催に変更となりました。ご注意ください。



YouTubeでライブ配信します。
ライブ配信はこちら

運営メンバー

第3回 終活フェス ～神栖ココでずっと暮らすために～
人生の最終段階の医療・ケアについて考える実行委員会

代表 細井 崇弘 (1、2、3)

メンバー 海老原 稔 (1、2)

高橋 弘樹 (1、2)

佐藤 瑠美 (1、2)

阪本 直人 (1、2、4)

1：筑波大学総合診療科

2：神栖済生会病院 総合診療科

3：筑波大学 医学医療系 神栖地域医療教育センター 助教

4：筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 講師

主催：社会福祉法人 恩賜 済生会 神栖済生会病院
財団

後援：神栖市 鹿島医師会 潮来保健所 筑波大学総合診療科